

落語は グローバル人材育成時代の 大学の日本語教育の教材たり得るのか

—中級会話の授業デザインに向けて—

2014年度日本語教育学会研究集会第1回

口頭発表（6月14日）

はじめに

2

- 2012年（於名古屋）
日本語教育国際研究大会
噺家を招いたイベント

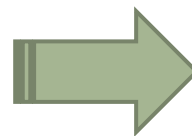
- 日本語教育に落語が？
- その後は？

「落語の日本語の授業」は
あり得ない

はじめに

3

- 外国語大学での新設科目（半年～1年の短期留学生）
 - ・楽しむ
 - ・日本語の「語学科目」
 - ・幅広い日本語レベル
 - ・学生が活動する



落語

- 日本語の授業に落語を取り入れることは、あながち的外れではない？
- 先行研究が少ないのは何故か？
- 落語は日本語の教材たりえないのか？

過去の実践報告(1)

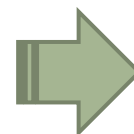
4

□ 土屋(1993)

授業での活動:

噺家口演の落語を聞く／スクリプト音読／考察
“江戸語”の音韻

語彙・表現・音声を細かく学習



**自分には
無理**

「学習者が理解することは困難だという考えが
教師にある」 米本・曾我部(2012)

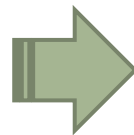
過去の実践報告(2)

5

□ 酒井(2001)

- ・目的: 落語を**楽しむ** (× 落語を**教える**)
- ・活動: 噺家による**生の**落語の鑑賞
- ・学生: 「おもしろい」「理解できた」

・1コマ(75分)
・当日の工夫



**案外,
理解できる?**

過去の実践報告(3)

6

□ 入戸野(2009)

- ・対象: 日本語能力試験1級合格者
- ・活動: 口演の音声, 落語の要素・構成・表現の工夫, 小道具の使い方など, 声に出して読む, **口演する**
- ・学生: 「4技能と**“演じる力”**が上がった」
 - 落語を日本語の学習に取り入れることの有効性を示す

「演じる力」
ロールプレイ, 演劇?



上級者でないと無理?

過去の実践報告(4)

7

□ 畑佐・久保田(2009)

- ・対象: 初級者以上
- ・活動: 小唄を演じる

「聞き手を笑わせるというはっきりした目的」
「上手なら笑うという明確なゴール」

**語彙・表現の問題が
ない**

過去の実践報告(4)

畑佐・久保田2009の小噺活動

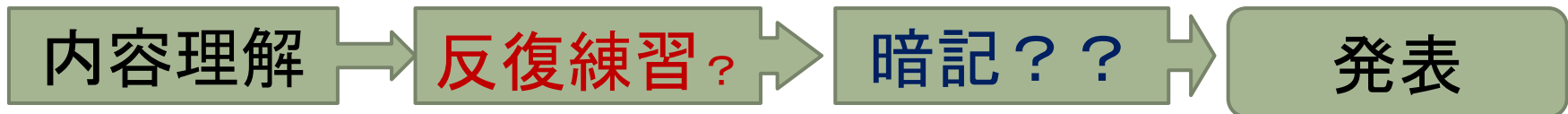
8



～日本人の落語の稽古と同じ流れ～

「考えなくても自動的に出てくるレベルまで覚える必要がある」(by畑佐・久保田)

落語の手法



～発表者の授業の流れ～

落語とは何か？（国語辞典より）

◆ 広辞苑（第6版）

「一人の演者が滑稽な噺を登場人物の会話のやりとりを主として進め，その末尾に落ちをつけて聴衆を興がらせる寄席芸能」

◆ 明鏡国語辞典（第2版）

「一人の演者が滑稽を主とした噺を身ぶりをまじえて語り，末尾に落ちをつけてまとめる話芸」

落語とは何か？ (学生23人のブレストより)

「『落語』と聞いて思い浮かべることば」

1. 着物 14
2. 一人 13
3. おもしろい 9
3. 正座 9
5. 笑う 5
6. ジェスチャー 6


※その他：

- 扇子, 表情, 速い 3
- お年寄り, ことわざ 2
- コメディ 1
- 楽しい 1

落語 = 笑い話

落語の授業が困難な要因

1. 先行研究の授業目的 & 活動
 - 「ことばが難しすぎる」
2. 滑稽・笑い話
 - 難しいのに内容が無い
 - 「グローバル人材育成」の時代に！



落語は無用

落語とは何か？（先行研究より）

酒井（2001）

「一つの噺を多くの語り手（噺家）がその時代に合わせる形でアレンジしつつ伝えて行く洗練された話芸」

- 庶民に
- 難しい説教を
- 効果的に伝える
- 手法の一つ

関山和夫（1985）

「経典や教義を正しく説いて民衆を教化する」

「おもしろおかしく話すことが必要」

「一見下品な邪道のように見えるかもしれないが、その方が教化の上で効果的」

「話芸」の
創始者？

落語とは何か？（発表者による）

- “昭和の名人”の口演
 - ・・・未知の語彙や言い回し

言い換え &
噺の前に説明

現代の噺家の口演

- ・・・未知の語彙なし

- 話の筋，登場人物の考察 & 稽古

- ・ 聴衆に伝えるための工夫と稽古の積み重ね
- ・ 演者と聴衆のコミュニケーションの結実

落語とは何か？

□ 桂（2010）

～落語が意味や感情や心情を
表現することを豊かに培う～

落語は、娯楽、芸能といったイメージが強いため、最近のメディアの風潮に乗せられ、「いかに笑わせるか」とか「面白いが勝ち」といった価値観一辺倒で評価されることが多い。しかし、ここでいう「落語」は、そういう価値観とはまず切り離して考える必要がある。

（中略）「落語」を教育現場にどう生かすか・・・

落語とは何か？（結論）

落語

娯楽・芸能
“一面的な見方”

相手に伝える
工夫&稽古の積み重ね

教育の可能性を
つぶす

落語の**手法**に
注目する

ことばの授業に
活かす可能性

学生の現状

16

□ 日本語を専攻する留学生

- ・発話・・・名詞&動詞辞書形の羅列
- ・発表・・・棒読み

内容知識欠如, 発話訓練不足から
発表＝“成果”→話す態度への反省不足

cf. 小山2014(九州大学の事例)



どこでも起こっている？

棒読み発表の要因

17

1. 語彙・表現・内容の理解不足
2. 「難しいことばがかっこいい」という誤解
3. 「伝えたい」という思いがない
目的: ○発表すること ×伝えること
4. ことばの伝え方や, ことばが伝わる喜びを
獲得していない

cf.近藤・川崎2011 十

- ・平易なことばを駆使
- ・伝えたいという思い

「落語の手法」で？

長外大の「グローバル人材像」

18

「主体的に物事を考え、言語、文化、価値観の異なる人々に自分の考えを効果的に伝え、その差異を乗り越えてお互いを理解し、新しい価値を生み出すために一致協力して行動に踏み出すことができる人材」

専門性が高い



自分の考えを効果的に伝える

落語の授業の成果をどう捉えるか？

19

畑佐・久保田2009

「**第二言語習得**の見地から検証」



「(小噺プロジェクトのような活動を)言語学習的に意味がある面白い活動としての位置付けが確立」

川崎 (in勤務先大学)

「相手に伝わることを意識した発話ができる,
人材育成教育という枠組みでとらえたい」

「ことばの難しさ」への対処(1)

20

【先行研究】

教師の工夫, 説明

【今学期の授業】

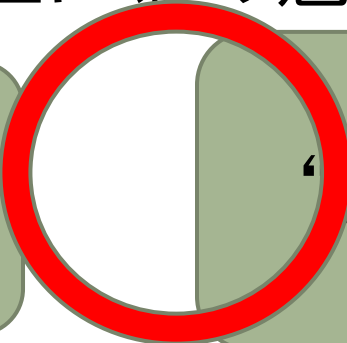
1. 理解のための工夫を, **学生自身**で行う

※わからないことをわかりやすく伝える姿勢?

2. 本格的な**落語鑑賞**をしない

～学生が他の学生に噺の魅力を**伝える**活動～

 落語**を**学ぶ

 落語を通して
‘人に伝えること’を
考える

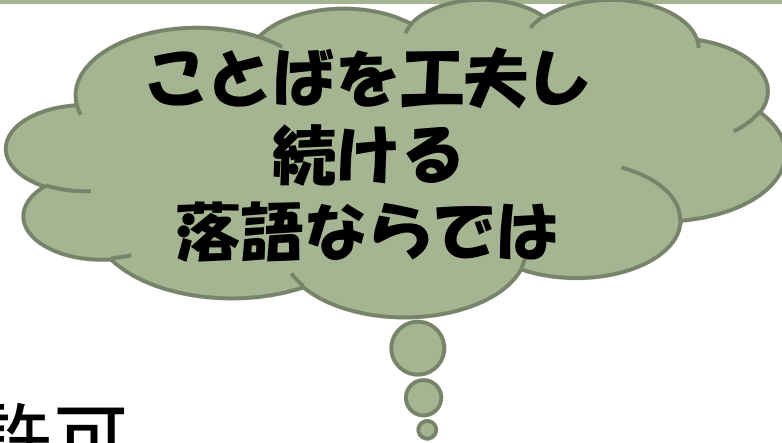
今学期の授業

21

3. 『高座本』の使用

- ・三遊亭圓窓氏による
- ・口述筆記本風
- ・データ版 (Word) の使用許可

→ 不要個所の削除, 方言の標準語化,
表現の言い換え, ルビ振りなど



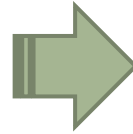
ことばを工夫し
続ける
落語ならではの

**学生の日本語力・授業目的に応じた
表現の調整が可能**

落語の授業が困難な要因

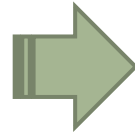
22

1. 「ことばが難しすぎる」



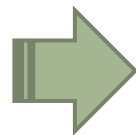
工夫次第で
調整可能

2. 滑稽・笑い話

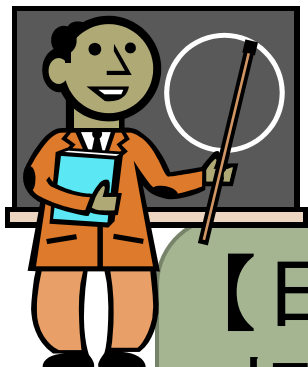


本質を捉えていない

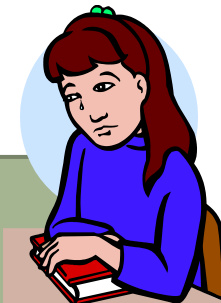
「グローバル人材育成」の時代に！？



「効果的に伝える」人材を育てる



【日本語教師】
相手に伝える
技術がある？



【学習者】
相手に伝える
音識がない

**相手に伝えることを
考える授業**

【落語の手法】
伝える工夫 & 稽古を続ける



Q : 落語はグローバル人材育成時代の
大学の日本語教育の
教材たり得るのか

A : ダメというのは早すぎる。
やってみる価値があるかも。

課題

25

1. 「落語の授業」は、**内容考察 & 言語・知識習得の
機会の担保**が前提

2. その他

教育機関の教育方針・カリキュラム／グローバル人材の定義／リメディアル教育／日本語教育が何をめざすのか／演劇・ロールプレイ・群読などのとの比較／第二言語習得としての分析落語を取り入れた英語教育／落語を取り入れた国語教育／大学での日本人へのことば(落語)の授業／学習の動機付け／**実践 & 報告**

終わりに

26

落語

=

噺(はなし)

落語の授業

=

はなしの授業

参考文献(予稿掲載以外のもの)

27

- 桂蝶六「落語表現を教育に生かす～ワークショップ・レポート～」, 青山学院大学紀要,2010 第3巻, p.61-74
- 小山悟「大学の日本語教育の「内容」を問う」2012日本語教育国際研究大会パネルセッション,
- 小山悟「日本語・日本文化研修コースは「歴史」の授業をどう評価したかー振り返りの分析からー」九州大学留学生センター紀要(22), 37-53, 2014
- 近藤有美・川崎加奈子「本物の発信者を目指した活動型授業の実践」2011年度日本語教育学会春季大会, 口頭発表
- 関山和夫『落語風俗帳』白水社,1985

ご清聴ありがとうございました